レゼルタ

取付・取扱説明書

このたびは、日本興業の製品をお買い上げいただきありがとうございます。
末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい施工とご使用をお願いします。

施工の前に

・商品到着後、すみやかに検品頂き、傷などの不具合がございましたら、商品到着後１週間以内にご連絡下さい。
・ボスト、表札、照明器具、インターホン子機などの別売品（以下アクセサリー類）はすべて施工現場での取付けとなります。
・設置場所に寸法的に正しく収まるかどうか確認して下さい。
・梱包明細書に記載の部材、部品がすべて揃っているかどうか確認して下さい。
・製品の組立ては、必ずこの「取付・取扱説明書」にしたがって下さい。
・施工完了後にこの「取付・取扱説明書」は、施主様にお渡し下さい。

施工上のご注意

・運搬や施工時に製品をぶつけないで下さい。
・製品を横に倒して、長時間地面等に放置しないで下さい。
・段ボール梱包したまま、雨等で濡れないようにして下さい。
・製品の改造はおこなわないで下さい。

・基礎部の体積は、指定以上の寸法として下さい。また、現場の状況に応じて、基礎部のコンクリートの体積を考慮して下さい。
・塩分を含む砂、塩素系のモルタル混和材は腐食の原因になる為、使用しないで下さい。
・モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品の表面を流れないように注意して下さい。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
・モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生や促進作用がありますので、使用しないで下さい。

・門柱の設置場所、アクセサリー類等の取付け位置は、危険のない場所に設置して下さい。
・電気配線、結線工事は、電気工事店の有資格者に依頼して下さい。
・アクセサリー類等の取付けには、石膏ボード用アンカー、ステンレス製タッピングビス、指定の接着剤が必要です。
・各部材の取付けの際は、締め過ぎにご注意下さい。また、電動ドライバーをご使用の際は、低速回転で締め付けて下さい。
・施工終了後は、各部材が確実に固定されているか、ネジ類の締まり具合等をもう一度確かめて下さい。

使用上のご注意

■警告及び注意表示

⚠	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

🚫	禁止	この記号は禁止の行為を告げるものです。指示内容をよく読み禁止されている事項は絶対に行わないで下さい。
❗	厳守	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。指示内容をよく読み必ず実施して下さい。
⚠	注意	この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。指示内容をよく読み取り扱いに注意して下さい。

⚠警告

🚫 禁止	・本来の用途以外では使用しないで下さい。 ・製品の上に人が乗ったり、ゆすったり、無理な力をかけないで下さい。

⚠注意

🚫 禁止	・製品の改造はおこなわないで下さい。 ・通常の使用には十分耐えられる構造になっていますが、部分的に衝撃を与えますと、破損するおそれがありますので、乱暴な扱いは避けるようにして下さい。
⚠ 注意	・軽量素材の特性により、若干の揺れがありますが、地震等の力に対して有利に働く為、安全面に問題はありません。 ・白華（白い粉が浮く現象／エフロレッセンス）について まれに白華が発生します。現場環境によって、湿潤状態が長く続きますと、白華現象が促進されますので、ご注意下さい。 ・汚れは中性洗剤を使用して、よく水洗いして下さい。（シンナー、ベンジン類は使用しないで下さい。） ・研磨剤の入った洗剤や、金属製ブラシ、スチールウールなどで磨くと表面にキズがつく場合があります。 ・製品を廃棄される場合は、お住まいの取り決めに基づいた処理をお願いします。

梱包明細書

本体梱包品

名称	数量	仕様
レゼルタ　本体	１個	特殊樹脂モルタル製 複層左官材吹付仕上げ
取付・取扱説明書	１部	－

現場調達品

名称	数量	仕様
基礎定着用鉄筋	２	D10　長さ300mm

※施工に必要な工具や資材(スコップ、モルタル、コンクリート、クラッシャラン、モンキーレンチ)等は別途ご用意ください。

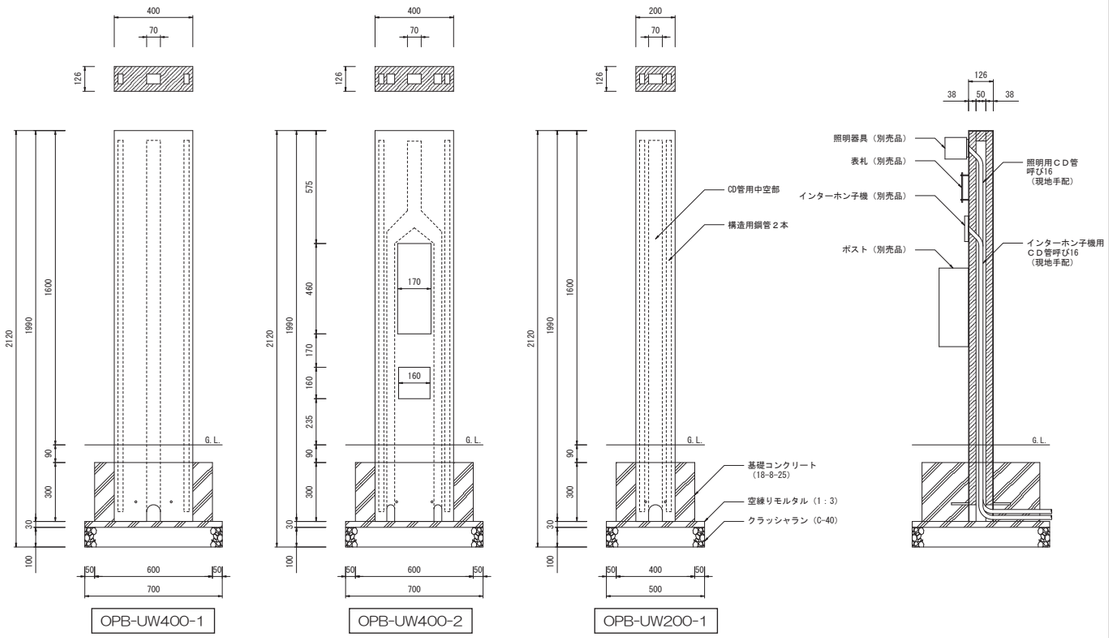
現場調達品（アクセサリー類を取付ける場合）

名称	数量	仕様
CD管	－	パナフレキCD　呼び16
石膏ボード用アンカー	－	－
ステンレス製タッピングビス	－	－
接着剤 （右表のいずれか）	－	セメダイン　PM-165R セメダイン　スーパーXG セメダイン　スーパーX2 コニシ　ウルトラ多用途S・U
電動ドリル・φ22ドリル刃	－	CD管を製品に通す穴あけ用
シーリング材	－	シリコーン系

※アクセサリー類の固定に必要な数量をご用意下さい。

組立手順

1　据え付け図



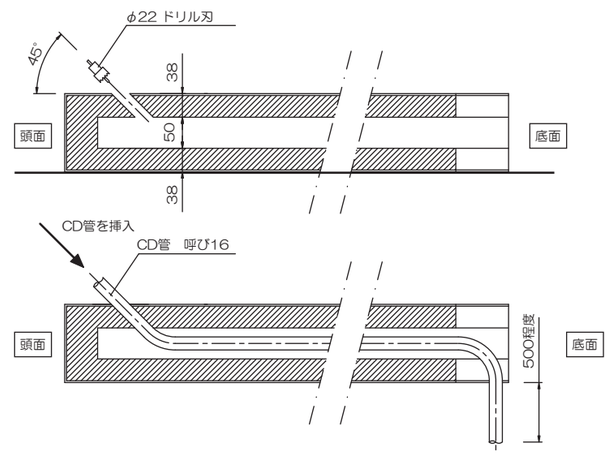
2　アクセサリー類固定の準備　※アクセサリー類を取付けない場合は必要ありません。

※作業中、製品に傷が付かないようご注意下さい。
砂利等のない平坦な床面に、製品を寝させ、
梱包用の段ボール等の上で作業をおこなって下さい。

① 照明器具とインターホン子機を取付ける場所を決めて、配線を通す位置に印を付けます。

② ドリルやホールソーを使い、下向きに約45度の角度で、CD管が通る穴（約22mm）をあけます。

③ CD管を②で空けた穴から挿入し、製品底面に引き出します。底面からCD管は、500mm程度飛び出した状態とします。



3 基礎工事と本体の設置

① 所定の寸法で床掘りをおこないます。

② 据え付け図を参考に、照明器具、インターホン子機用の配線配管を製品基礎部分まで持ってきます。

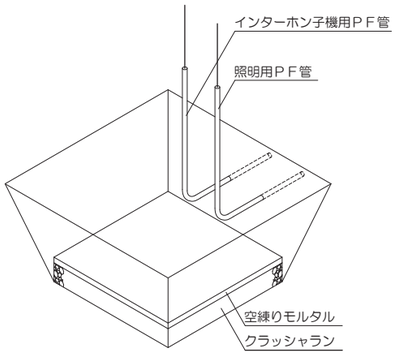
③ クラッシャラン、空練りモルタルを敷設します。

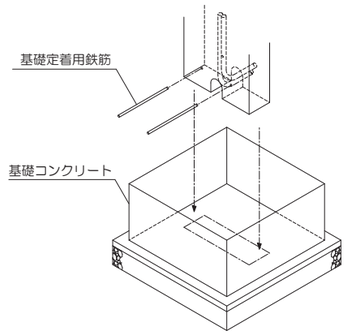
④ 製品下部の穴に基礎定着用鉄筋を通します。

⑤ 製品を基礎内に設置し、位置を調整して仮固定します。

⑥ 基本体の水平垂直を確認し、コンクリートを打設します。

※ コンクリートは所定の強度がでるまで、十分な養生期間を設けて下さい。





4 表札、照明器具、インターホン子機の取付け

※ 本体に取付ける前に、アクセサリー類の取付・取扱説明書をご確認下さい。

※ アクセサリー類に付属の樹脂アンカー（プラグ）やビス等は使用できません。
石膏ボード用アンカー、ステンレス製タッピングビス、指定接着剤をご用意下さい。

① 配線を通した後、CD管の周りに防水処理をします。

② 取付ける位置を仮決めし、固定する下穴位置に印を書きます。

③ 指定の接着剤を石膏ボード用アンカーに塗り、下穴位置にドライバーでねじ込みます。

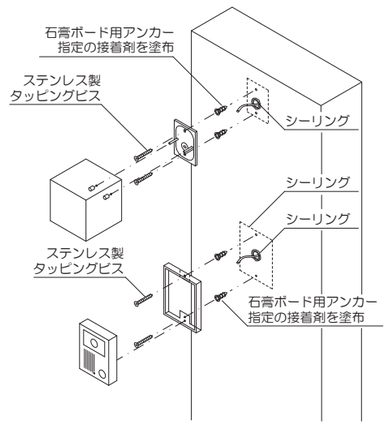
④ ステンレス製タッピングビスで台座を固定します。

⑤ アクセサリー類本体を固定します。

※ 表札の取付けもビス固定が必要なタイプは、上記と同じ方法で固定して下さい。
接着剤で固定するタイプは、指定接着剤をご使用下さい。

●指定接着剤

セメダイン	PM-165-R スーパーXG スーパーX2
コニシ	ウルトラ多用途S・U



5 ポストの取付け　前入れ前出しタイプ

※ 本体に取付ける前に、ポストの取付・取扱説明書をご確認下さい。

※ ポストに付属の樹脂アンカー（プラグ）やビス等は使用できません。
石膏ボード用アンカー、ステンレス製タッピングビス、
指定の接着剤をご用意下さい。

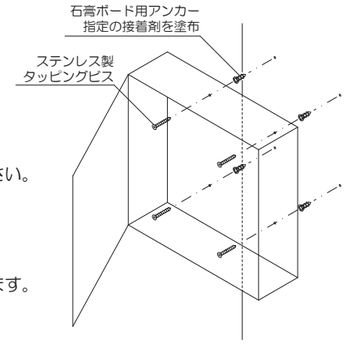
※ ポストは４点以上で固定して下さい。

※ ポストの取付穴が製品本体から飛び出す場合は、ポストに取付穴を別途設けて下さい。
W200タイプは、取付穴を別途設けるケースが多いです。

① 取付ける位置を仮決めし、固定する下穴位置（４点以上で固定）に印を書きます。

② 指定の接着剤を石膏ボード用アンカーに塗り、下穴位置にドライバーでねじ込みます。

③ ステンレス製タッピングビスで本体を固定します。



5 縦型ポストの取付け

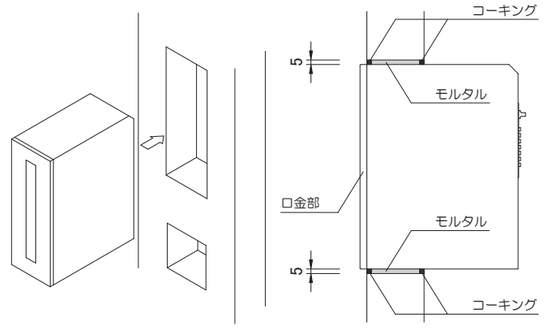
※ 本体に取付ける前に、ポストの取付・取扱説明書をご確認下さい。

※ 口金部は製品内に埋め込まないで下さい。

① ポスト本体を製品に挿入して、モルタルで固定し、
周囲の４面はコーキングして下さい。

●適応ポスト

東洋エクステリア	エクスポスト 縦型タイプ
パナソニック電工	サインポスト VMD型/VM型 サインポスト VHD型/VH型



6 笠木の取付け

●マルチトップ-GT、GTⅡの場合（取付ベースがモルタル固定のタイプ）

① レゼルタの幅にあわせ、笠木の長さ
（製品幅から片側20mm程度飛び出す長さ）に
必要な部材を用意し、笠木本体をカットします。

② モルタルベース底部の突起に沿い、レゼルタ天端に
カッターナイフ等でミゾを彫ります。

③ ミゾに接着剤（PM-165-R）を充填し、モルタルベースを固定します。

※ モルタルで固定しないで下さい。

④ その他の笠木本体の取付け等は、取付・取扱説明書に従って下さい。

●他社アルミ製笠木の場合（取付ベースがネジ固定のタイプ）

① レゼルタの幅にあわせ、笠木の長さ
（製品幅から片側20mm程度飛び出す長さ）に
必要な部材を用意し、笠木本体をカットします。

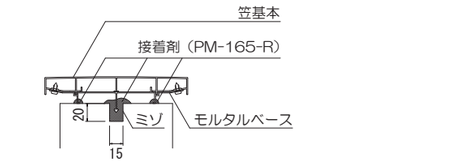
② 取付ベースを固定する際、付属のネジやプラグは使用せずに、
前述のアクセサリー類と同様に、石膏ボード用アンカー、
ステンレス製タッピングビス、指定の接着剤をご用意頂き
取付けをおこなって下さい。

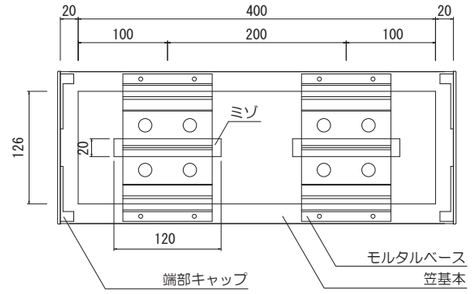
③ その他の笠木本体の取付け等は、取付・取扱説明書に従って下さい。

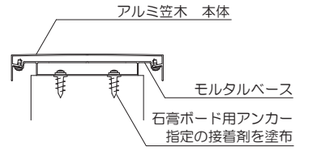
●焼き物、天然石、コンクリート製笠木の場合

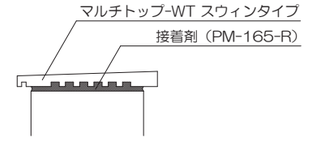
① レゼルタの幅にあわせ、笠木の長さ（製品幅から片側20mm程度
飛び出す長さ）を調整します。
② レゼルタ天端に接着剤を（PM-165-R）を全面塗布し、笠木を固定します。

※ レゼルタ専用サイズのマルチトップ-WT スウィンタイプを
別売でご用意していますので、営業所までお問合せ下さい。









補修方法について

・通常の使用には十分耐えられる構造になっていますが、部分的に衝撃を与えますと、破損するおそれがあります。
・小さなキズや欠けは、市販の屋外用の同色系のパテで埋めて下さい。
・パテ跡が目立つ場合は、製品に使用している物と同じ仕上げ材料をご用意しておりますので、営業所までお問合せ下さい。
・大きく欠損した場合は、補修が困難な場合があります。現場状況に応じた補修方法をご提案致しますので、営業所までお問合せ下さい。

お手入れについて

・表面の汚れ等は、水で薄めた中性洗剤を使い、水で洗い流して下さい。
・汚れが激しい場合は、洗車ブラシ等を使い、軽くこすって下さい。タワシ等で強くこすると、仕上げ面が剥がれる場合があります。
・有機溶剤（シンナー、ベンジン等）や塩素系、酵素系の漂白剤は使用しないで下さい。

日本興業株式会社

● 製品の仕様、内容等につきましては、品質改良の為、予告なしに変更する場合があります。

10．04